



グローバルPBL体験談

実施年度	2020年度
プログラム連番	178
実施形態	オンライン
担当教員	環境システム学科 松下 希和先生 建築学科 山代 悟先生
実施期間	2021年2月16日～3月30日
実施協定校	アールト大学(フィンランド)

参加学生体験談（要旨）

建築学科	2年	<p>専門的な内容について英語でやりとりをするという機会は初めてだったので、とても難しく緊張しました。ですが、芝浦生だけが集まる講義のときも英語でエスキースをしていただいたことで、アールト大学の学生との講義のときの練習になりました。</p> <p>また、アールト大学の学生の方もとても優しく、やりとりもメールが主体だったため、無事プロジェクトを終えることができました。参加してよかったです。</p>
建築学科	3年	<p>コロナ禍で実際に海外に渡航することが難しい状況でも、リモートで海外の学生と交流する機会があることは、とてもありがたいと感じました。</p> <p>また、フィンランドの学生達がどのような設計をしてどのような表現でプレゼンするのか等、旅行するだけでは分からない専門分野の教育の違いを感じることができることは、プログラムの魅力だと思いました。</p> <p>プログラム期間は短いですが、自分から積極的にパートナーの学生と交流することにより、良い経験を得ることが出来ると感じました。</p>
建築学科	3年	<p>前回、同様のプログラムに参加した際には、フィンランドの建築や空間空気を感じる事は出来たものの、現地の学生と関わる機会をあまり持てなかったため、今回、現地の学生と交流の機会を持てる本プログラムに参加しました。</p> <p>普段は英語を話す機会があまりなかつたため、今回のプログラムは、英語力の維持・向上に役立ちました。</p> <p>しかし、建築の授業やプロジェクトとしては、2週間程度実際に渡航するプログラムに比べると物足りなさを感じたので、やはり早く対面型のプログラムができるようになるとういなと思います。</p>

参加学生体験談（要旨）

建築学科	3年	<p>自分の英語力を試したいと思い参加しました。レベルの高い内容や意見を頂けたり、講師の方の貴重なお話を聞くことが出来たこともすごく良かったです。アールト大学の院生さんと一緒にプロジェクトを行うことはとても刺激的でした。</p>
建築学科	2年	<p>今回のプロジェクトを経て、英語の重要性を改めて感じました。普段の授業では日本語で行う設計のエスキースを英語で行うことは、想像以上に難しかったです。エスキースのアドバイスも英語でいただくので、聞き取る能力の必要性を感じました。</p> <p>自分が発表する際は、自分が設計で最も大切にしていることや伝えたいことを、簡単な英語にして話すことを意識しました。</p>
環境システム 学科	3年	<p>設計を海外の学生と行うことで、コミュニケーション能力が上がったのはもちろんですが、海外の学生の建築デザインの考え方も学ぶことができ、非常にいい経験になりました。また、外部講師の方のお話を聞くことも有意義でした。</p>
環境システム 学科	2年	<p>参加する前からフィンランドに興味があって申し込みました。今回のプログラムを通じて、外国人と英語で専門の内容を話す機会を得られて嬉しかったです。</p>